

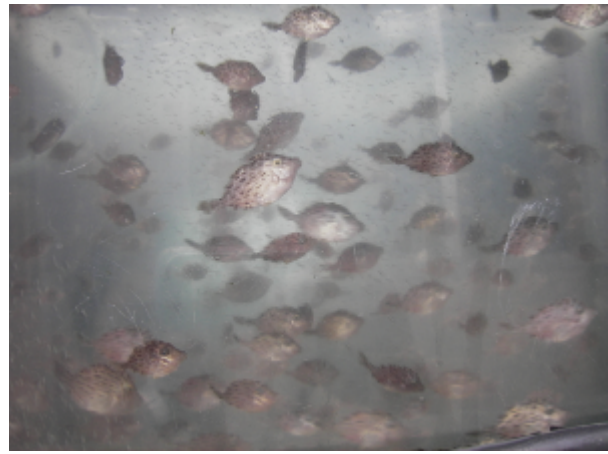
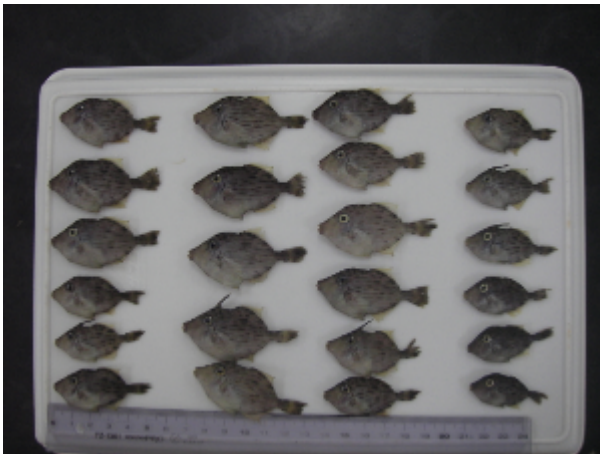
\*\*\*\*\* カワハギ稚魚ができました \*\*\*\*\*

養殖研究部 中野平二

水産研究センターでは平成18年からカワハギの人工種苗（稚魚）生産に取り組んでいます。

カワハギは、味がよく、成長が早い事など養殖魚としてのメリットを持っているためマダイ、ブリ、トラフグに次ぐ新たな養殖魚種として期待されています。

今年では体長20mmサイズの稚魚30,000尾を生産しました。



今年生産した稚魚です

平成21年8月に、県下の養殖業者5業者に、この稚魚を配布して養殖規模での試験を始めました。



牛深の栽培漁業協会の海面筏で中間育成した後出荷しました

養殖試験の目的は、実際の養殖規模でも当水産研究センターの試験結果と変わらない成長が得られるかどうかや、市場での評価を調べることです。

この他、水産研究センターでは民間の種苗生産業者の方への指導を行い、安定的に稚魚の供給ができるような取り組みを行っています。

今後とも量産化に向けた取り組みを行っていきますのでご期待ください。